

高句麗からの渡来人の郷を訪ねて

やや寒めではあるが爽やかな秋晴れの日、義兄の墓参のついでに足を伸ばし埼玉県の比企から奥武蔵あたりをドライブしてみた。

出かける前に気になっていたのは「高麗川」。50 年ほど前に八高線に乗って八王子から高崎までの車窓の景色を楽しんだ時に、地名に興味を持ったのが最初になるだろうか。「高句麗からの渡来人が住み着いた場所」ということを知ったが、それ以上の踏み込みはしなかった。

その後も何度か八高線に乗ったり、付近を車で走ったりしたことはあったが、通過しただけでじっくり覗いて見たことは一度もなかった。高麗神社・聖天院を見て、あらためて渡来人の動きを知り直すことができた。

まずは高麗神社へ行ってみることにした。正丸峠の手前にある休暇村奥武蔵を出て、蛇行する高麗川に沿って国道 299 号線を西武秩父線と並走して下る。武蔵横手駅を過ぎてしばらく進み、久保で国道を離れて左に入ると県道 15 号線。さらに鹿台橋（ろくだいばし）を渡って県道を離れ、物見山の東南麓を巻くように進むと東に向いた緩やかな傾斜地が広がってきた。近頃、彼岸花で有名になった巾着田はこの近くにある筈だ。左手に「聖天院」の看板と山を背にした立派な寺、そしてその先を左にゆるくカーブすると高麗神社が現わ



れた。（左写真）広大な駐車場は観光客の多さを物語っている。

中国の松花江流域に住む騎馬民族である高句麗国は朝鮮半島北部あたりまで領有し、700 年にわたり君臨していた。その後唐と新羅の連合軍の攻撃に遭って 668 年に滅亡した。この時、乱を逃れて貴族・僧侶など多数が海を渡って日本に渡って来た。その後 716 年に甲斐・駿河・相模・下総・上総・常陸・下野の七国から 1,799 人の渡来人が武蔵国に移されて、新たに高麗郡が設置された。王若光が高麗郡の首長となり、武蔵野の荒れた原野を開拓した。ここに上野国が含まれていない理由が気になるが……。若光の死後、その徳を偲んでこの神社ができ高麗明神として崇めた。以来、若光の直系の宮司によってこの社が守られており、現在の宮司は 60 代である。

と入口の看板に説明があった。近代に入って、著名な政治家達が参拝し、その多くが後に宰相となったことから「出世明神」としても崇められるようになり、現在ではごく普通の、地元で根付く多目的神社として存在感を増しているとのことだ。

ついでに、通過してしまっ聖天院にも行ってみることにした。

聖天院は、高麗神社と同様に若光の菩提を祀るために僧勝楽が 751 年に建立した高麗山勝楽寺。

境内に掲示されている説明の看板の内容は高麗神社で見たものとあまり変りはなかった。王が守護仏として祖国から持ってきた「聖天歓喜仏」を本尊としていることから聖天院の名が付いた。

入口にどんと構える山門と枝垂れ桜の古木が迎えてくれた。（右写真）



山門に「雷門」と書いた大きな提灯が下がっているのので近づいてみたら、浅草寺の雷門を模して作ったものであるとの説明があり、左右に不動明王が配されていた。

山門の脇の道に入ると若光王の墓「高麗王廟」がこぢんまりと建っていた。石を積み上げただけの簡素な墓が、その偉功とは裏腹で印象的だった。（左写真）



最近世界記憶遺産に登録されることになった群馬県の上野三碑の中にも高句麗から渡来した人達の活躍が記されており、平成 26 年に見学した栃木県的那須国造碑にも同じような記述がある。

また、那須国造碑がある笠石神社の説明資料には、日本三大古碑として「多胡碑・那須国造碑・多賀城碑」が併記されていたので、これらを合わせて時系列で眺めてみたくなり、帰宅後に整理してみた。

以上

- ◆参照資料 古い石碑と高句麗からの渡来人 下表参照
 また出たユネスコ 上信電鉄の旅 <http://www1.u-netsurf.ne.jp/~TKOB/johshin.pdf>
 小さな冊子をめぐる那須の旅 <http://www1.u-netsurf.ne.jp/~TKOB/nasu.pdf>

古い石碑と高句麗からの渡来人

年代	日本史	高麗川の歴史から	那須国造碑から	上野三碑から	多賀城碑から
5世紀 ～		この頃大陸では 高句麗が栄えていた			
593年	聖徳太子 推古天皇の 摂政になる				
600年	遣隋使派遣				
630年	遣唐使派遣				
645年	大化改新				
666年		高句麗の使節団が 日本に来訪			
668年		高句麗滅亡（唐・新 羅連合に敗れる） 高句麗人が海を渡っ て日本に渡来			
672年	飛鳥京遷都				
681年				放光寺の僧長利が 佐野三家（みやけ） を定めた健守命の子 孫である母のために 一族の繁栄を祈って 山上碑を建造した （日本最古の石碑）	
689年			那須国誕生 国造の直韋提（あた いいで：渡来人）が 那須評督に任命さ れた		
694年	藤原京遷都				
700年			直韋提逝去 遺子である意斯麻 呂を中心としたメ ンバーが功を称え 石碑に刻み残した		

			(那須国造碑)		
701年	大宝律令		那須国は下毛野国に併合されて那須国は消滅		
703年		従五位高麗若光に王の姓を賜う(続日本記に記述あり)			
710年	平城京遷都				
711年				上野国 14 番目の郡として多胡郡が創設され、羊(渡来人)が評督に任命されたことを記した多胡碑が建造された	
716年		甲斐・駿河・相模・下総・上総・常陸・下野の各地から1799人の高句麗人を武蔵国に移して高麗郡を設立 高麗王若光が高麗郡の首長に			
724年					大野東人(おのおのあずまひと)により多賀城(柵)が創建された
726年				山上碑を建てた豪族の子孫である三家(みやけ)氏と名乗る豪族が先祖の供養と一族の繁栄を祈り金井沢碑を建造した碑文の中に「群馬」という地名が書かれている(地名の由来)	
737年					多賀柵という言葉が続日本記に記されている
751年		若光逝去 その菩提を祀るため僧勝楽が勝楽寺を建立(現在の聖天院)			

		若光の徳を偲んで、 高麗明神を祭神とし て高麗神社を創建			
762年					藤原朝狩によ って多賀柵が 修造されて呼 称が多賀城と 変わり碑文に 記録が残され た(多賀城碑) 文中にこの地 の「要所からの 距離」が示され ており、隋唐の 時代に中国東 北部に存在し た民族の名(靺 鞨:まつかつ) がある
784年	長岡京遷都				
794年	平安京遷都				
1658 ～ 1673 年					草むらに埋も れていたもの が掘り起こさ れた
1676 年			磐城の僧円順が草 に埋もれた石碑を 発見		
1687 年			水戸光圀が発掘・調 査・検証		
1689 年					松尾芭蕉が奥 の細道に「つぼ の石文」として 記述 苔むし文字判 読困難と表現
1692 年			水戸光圀の命によ り、御堂を建てて安 置し祀った(笠石神 社の起源)		

<余談>

子どもの頃にこんな歌を知った。「朝鮮人はかわいそう 地震のために お家がペッチャンコ」日常生活の中で流れてくる情報としては、朝鮮半島や朝鮮人を蔑視・卑下したものが少なくなかった。その結果として、この国（半島）に対してあまり良いイメージは作られなかった様な気がする。中学生・高校生になり「豊臣秀吉の朝鮮征伐」について教わり、また「関東大震災の時の朝鮮人大虐殺」の事件も知った。朝鮮半島の二つの異なる政治思想への分断（南北分断）も知った。近年韓国ドラマなどで韓国ブームが広まった時期もありはしたが、第二次大戦後に残った国民感情としてはあまり良いものはなく、どちらかというところ「好きになれない国」と思っている人がかなり存在するのも事実だと見ている。

かたや歴史年表を紐解いていくと、1300年余り昔に高句麗から渡ってきた人達が各地で活躍して我が国の歩みに大きな影響を与えてきたのも事実だし、結果として長い年月の間に私たちの体の中に朝鮮半島の人達と同じように高句麗人の血が混ざっていることも事実である。

そのようなことを考えてみると、我が国の人民が朝鮮半島の民族ともっと近い親しい関係になる方が自然ではないかと思えてきた。しかしながら、双方の国に於いて様々な問題が燻っていて思うようになってはいないのが現実で、残念なことである。

以上